

急性脳梗塞患者に対する早期リハビリテーション開始件数

分子 分母のうち、「脳血管疾患等リハビリテーション料」が入院日から4日以内に算定された症例数

条件① 計測期間において様式1の「医療資源を最も投入した傷病」の ICD10記載欄に以下のいずれかのICDが記載されている退院症例数

ICD-10	病名
I63\$	脳梗塞

条件② 条件①の症例のうち以下の3つの条件をすべて満たす症例を抽出し、分母とする
 (1)様式1の「脳卒中の発症時期」が「発症3日以内に該当する症例
 (2)様式1の「入院時意識障害がある場合のJCS」が以下のいずれかに該当する症例

値:3	名前、生年月日が言えない
値:2	見当識障害あり
値:1	清明とはいえない
値:0	無し

(3)当該入院期間中に「脳血管疾患等リハビリテーション料」の算定があった症例

条件③ 以下のいずれかに該当する場合は除外する

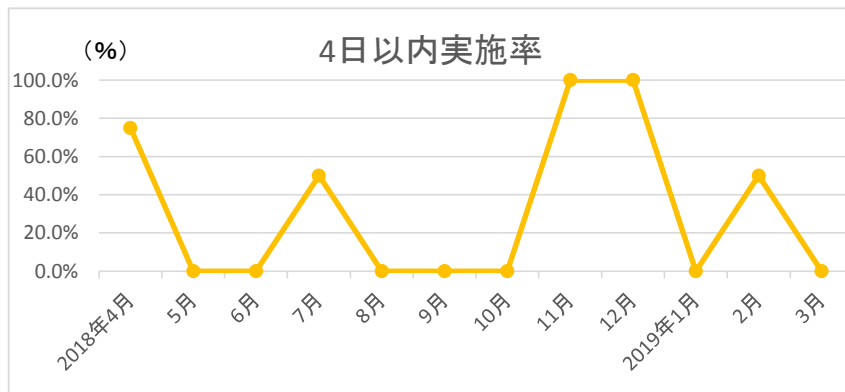
(1)様式1の入院年月日と退院年月日より在院日数を求め、3日以内の症例
 (2)様式1の「入院時併存症」「入院後発症疾患」のいずれかのICD10記載欄に以下のいずれかのICD10コードが記載されている症例

ICD-10	病名
I21\$	急性心筋梗塞
I23\$	急性心筋梗塞の続発合併症
I95I	起立性低血圧(症)
I60\$	くも膜下出血
I61\$	脳内出血
I62\$	その他の非外傷性頭蓋内出血

様式1の「退院時転帰」が以下のいずれかに該当する症例

値:6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
値:7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

年月	2018年4月	2018年5月	2018年6月	2018年7月	2018年8月	2018年9月	2018年10月	2018年11月	2018年12月	2019年1月	2019年2月	2019年3月	年間
分子	3	0	0	1	0	0	0	3	2	0	1	0	10
分母	4	1	2	2	5	1	0	3	2	3	2	0	25
実施率(%)	75.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	40.0%



《解説》

脳梗塞は、脳の血管が細くなったり、血管に血栓が詰まることで、脳に酸素や栄養が送られなくなり、その部位の脳組織が壊死に近い状態に陥ってしまう病気です。脳梗塞により、運動障害、言語障害、感覚障害等の後遺症が残ることがあります。脳梗塞の後遺症によって、寝たきりになることで、筋萎縮・筋力低下、関節拘縮、肺炎、褥瘡、抑うつ等の廃用症候群が起こります。廃用症候群の発生を防止するためには、早期からリハビリテーションが重要になります。そして、日常生活の自立と早期の社会復帰に繋げていくことが求められます。施設の体制によっては、理学療法士による本格的なリハビリテーション開始日が休日に該当した場合、リハビリテーションの開始が1日遅れる場合があります。